

かさま応援大使を紹介します

市では、笠間市の魅力、良さを広く国内外に発信し、市のイメージアップや知名度の向上を図るため、「かさま応援大使」制度を創設しました。

大使は、笠間市出身者や笠間市とゆかりがある各分野において活躍している方々です。今後、笠間市の魅力を広くPRしていただきます。



は せ が わ ち え こ
長谷川 智恵子さん

株式会社日動画廊代表取締役副社長。フランス政府より、1979年アール・エ・レトゥル・シュヴァリエ勲章、1995年レジオン・ドヌール・シュヴァリエ勲章、2009年レジオン・ドヌール・オフィシエ勲章を受章。夫の長谷川徳七氏（日動画廊社長）とともに、フランス美術を印象派から近代、現代美術に至るまで日本に広く紹介し、国内多数の美術館のコレクション形成に貢献した。

著書は、美術入門書をはじめとして、「素顔の巨匠たち」「女だから、女だてらに」など多数。芸術の香る街・笠間と言われる所以のひとつとなっている笠間日動美術館は、年に数回行われる企画展のほか、常設展では美術館所蔵の名品の数々が展示されている。

長谷川さんへのかさま応援大使委嘱状の交付は、1月12日東京銀座の日動画廊本店で行なう予定です。

か り や ざ き し ょ う ご
假屋崎 省吾さん

華道家。假屋崎省吾 花・ブーケ教室主宰。美輪明宏氏より「美をつむぎ出す手を持つ人」と評される。近年では着物のデザインおよびプロデュースをはじめ、花と建造物のコラボレートとなる個展“歴史的建造物に挑む”シリーズを開催。フランスパリのプティ・パレ宮殿に引き続き、今年はヴァンセンヌの森の中の「パリ花公園」にて個展を開催するなど国際的にも高い評価を得、幅広く活躍している。

笠間市とは12年ほど前から縁があり、毎年秋に開催される目黒雅叙園百段階での個展「華道家 假屋崎省吾の世界」では、笠間の菊がふんだんに使われている。また、笠間の菊まつり記念イベント開催のため、毎年、笠間を訪れている。



笠間の菊まつり記念イベントにて



かさま陶芸の里マラソン大会にて

かわ さ き ま ゆ み
川崎 真裕美さん

競歩選手。笠間市出身、地元の小・中学校を経て下館第二高等学校に進学し、陸上部に入部。初めは800mや3000mだったが、2年生の時に顧問の先生から勧められ競歩を始める。卒業後、海老澤製作所（筑西市）に就職、平成20年12月に富士通に移籍した。この間、オリンピックや世界陸上に出場するなど世界を舞台に活躍している。

◆主な戦績

平成15年～17年

日本選手権女子20km
競歩3連覇

平成16年

アテネオリンピック
女子20km競歩代表

平成20年

北京オリンピック
女子20km競歩代表